

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2016年2月



【発行】河北新報普及センター  
 【力】高橋尚絅学院大 河北山脈  
 【編集】名取市役所  
 【部】11, 800部  
 【部】022(2286) 2391



本番に向けて稽古に熱がこもる子どもミュージカルのメンバー

### さらり なとり ひと☆

名取市内の子どもたちでつくる劇団「なとりひと」によるミュージカル『さらりなとりひと☆』が3月26・27日の日、市文化会館大ホールで「HONTOUR」(ホントウ)を公演する。

3月26・27日公演  
 ユーシカルが3月26・27日の日、市文化会館大ホールで「HONTOUR」(ホントウ)を公演する。午後1時30分開場、午後2時開演。

名取市内の子どもたちでつくる劇団「なとりひと」によるミュージカル『さらりなとりひと☆』が3月26・27日の日、市文化会館大ホールで「HONTOUR」(ホントウ)を公演する。

名取市内の子どもたちでつくる劇団「なとりひと」によるミュージカル『さらりなとりひと☆』が3月26・27日の日、市文化会館大ホールで「HONTOUR」(ホントウ)を公演する。

劇団は子どもたちの育成と文化芸術の振興を目的として2008年に結成されました。市内在住を中心に小中生70人が所属しています。毎年3月の定期公演に加え、様々な場所でもミュージカルを行っています。

演目の原作は「みにくいアヒルの子」。いじめや親子の愛という普遍的な要素をテーマとしています。10年の劇団の初演作品でもあり、当時から参加するメンバーにとっては原点復帰となる演目です。

団員は公演に向けて昨年11月から稽古に励んでいます。子どもたちは役になりきり、元気に飛び跳ね、歌声を響かせながら美しく舞っています。

座長で名取一中2年の赤沼美幸さん(14)は「年齢の異なる団員をまとめるのは、演技の助言をするのは大変です。みんなで大きな全てを伝え、みんなで大きな笑顔と感動を届けたい」と意気込んでいます。

入前で演じることで、目的ではありません。仲間と力を合わせることで、協



マスクで風邪対策。目指せ最高の舞台!

副座長の増田2年荒木なつ美さん(14)は「劇を始めて性格が明るくなったと笑顔を見せます。同、名取一中2年櫻又理湖さん(14)も「身知りだけでなく表現することが楽しくなった」と成長を実感しています。

舞台を演出するのはレッスン教室を主宰し、常盤木学園高ミュージカル部コーチでもある朝日雅宏さん(50)も名取市増田1です。

朝日さんは演じ方だけでなく、役の置かれた状況や心境について伝えます。

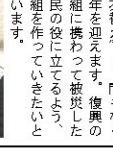
舞台監督に加えて、振り付けや歌唱指導の専門家も熱心に指導し、プロ演家による生演劇が舞台を支えます。朝日さんは「役者とお客様が空気を共有できる

「なとりひと」は「なとりひと」を語りました。公演は全席自由、前売り券は高校生以上1,300円(当日600円増)、3歳以下は無料(当日600円増)。以上中学生以下は800円

「なとりひと」は「なとりひと」を語りました。公演は全席自由、前売り券は高校生以上1,300円(当日600円増)、3歳以下は無料(当日600円増)。以上中学生以下は800円

WATER COMMUNITY  
**なとり**  
 11月8日  
 www.natori195.jp

「なとりひと」は「なとりひと」を語りました。公演は全席自由、前売り券は高校生以上1,300円(当日600円増)、3歳以下は無料(当日600円増)。以上中学生以下は800円



「なとりひと」は「なとりひと」を語りました。公演は全席自由、前売り券は高校生以上1,300円(当日600円増)、3歳以下は無料(当日600円増)。以上中学生以下は800円



元気いっぱい下増田幼稚園の子どもたち

### 下増田幼稚園

卒園生は延べ804人と  
なります。本年度の園の  
とれた野菜でカレーラ  
スやずんば白玉を作り、  
みんなで味わいました。運  
会やお茶会を通じて地域  
と積極的に交流しました。

1971年に開園した名  
取市立下増田、愛島の面  
積園が3月末で45年の歴史  
に幕を下ろします。市の方  
針によるもので、来年度に  
かけて閉園すつ閉園とな  
ります。閉園まで残り1ヶ月  
最後の園たちを紹介しま  
す。(阿部美生)

園での思い出を聞くと、  
「運動会で泳ぐ探ったこと」  
と対馬輝一ちゃん、荒川祥  
汰君、加藤陸君、村上織々  
ちゃん、山村菜々ちゃん、運  
動会、井田和毅君は「お  
茶会でお菓子を食べたこ  
と」。阿部日和ちゃんも佐  
宮成望(なるみ)ちゃん、  
富田結衣ちゃんはお姫様  
やアイドル(ごっこ)と答え  
ました。

浅野睦美先生は「一緒に  
遊べた仲間を忘れず、思  
いやりと強い心を持った人  
になって」と優しいまなざ  
しを向けました。3月18  
・22日の午前、園を開放し  
て思い出の写真を公開しま  
す。

# ありがとう思い出の幼稚園

## 市立2幼稚園 閉園

### 愛島幼稚園

築立つ園児は延べ107  
6人になります。年少のい  
ない本年度は多くの人と触  
れ合う機会を持ちました。  
思い出は「山のすずり」  
と大庭天祐(てんすけ)君、  
佐藤楓英(ふうえい)君、石  
橋りすちゃん、及川心愛(こ  
こね)ちゃん、小野寺海伶  
(みれい)ちゃん、佐藤里那  
(りか)ちゃん、高橋彩ちや  
んは「ふひっこまじり」と  
口をそめます。「ザツカ  
ー大会が楽しかった」と伊  
藤監督(ゆあ)ちゃん、小野  
屋さん(ごっこ)を行いました



笑顔あふれる愛島幼稚園の子どもたち

菊地怜絆(れいな)ちゃんは  
「学芸会で泥棒の役をした  
ことと教えてくれました。  
相沢明子先生は「目標や  
夢を持ってチャレンジし、  
世界を広げてほしい」とエ  
ールを送りました。3月22  
・24日午前と20日午後、園  
を開放し過去のアルバム、  
写真を公開します。

### 交流保育で友情育む

下増田、愛島の面  
積園は本年度、互いの園児が行  
き来して交流を図る「交流  
保育」を行ってました。  
友情を育むイベントとし  
て1月27日、下増田でお店  
屋さん(ごっこ)を行いました



た、互いに店員役と客役  
に分かれて楽しみました。  
下増田は牛乳パックでつく  
ったアイスやホコのペットシ  
ョップ、愛島は折り紙で作  
ったヒマワリやエリの花屋

最終回は南名取の大友弘所長(ひろ)です。(聞き手は古橋明奈)

配速エリアは稲塚小山  
飯野坂、植松 名取が丘  
愛島、愛島台です。社員4  
人、アルバイト33人で、毎  
朝2、700部を届けま  
す。坂道が多く、踏面が凍  
結する冬場は難儀します。



◇南名取 大友弘所長◇

「明日に残さず精一杯やる」。その日の仕事に「心不乱に取り組み」こと、東日本大震災後の多忙な時期も乗り越えることができた。  
中学、高校と朝夕刊の配達をさせていただきました。仙台市出身、両親、妻、娘の五人家族。販売所では、6代目の所長です。日曜に掲載されるクロスワードパズルが楽しみ、時事用語が答えになるのだから楽しみです。  
20年以上前から旅客機の写真撮影が趣味。カメラはペンタックス一筋です。福岡空港へ日帰りで出かけたこともあります。  
地域に密着するため、日頃から積極的なあいさつを心がけています。

「お知らせ」  
「替行エリア抜き」  
☆ 今月から発行エリアを拡大します。河北仙飯、富沢支店が担当する相互台と高徳熊野堂の一部が加わり、発行部数が600部増えます。紙面の問い合わせは引き続き河北新報普及センターにお寄せください。